

2023年12月15日

非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設
採取責任医師各位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

尿酸高値事例の G-CSF 投与等における対応について（通知）

平素より骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、非血縁者間末梢血幹細胞採取における G-CSF 投与後に痛風発作が認められた事例や尿酸高値となった事例が報告されたため、標記について改めて審議しました。本委員会としての指針は下記のとおりといたします。

つきましては、各施設において情報共有くださいますようお願い申し上げます。

記

尿酸高値事例の対応に関する指針

1. 術前健診時に尿酸が高値の場合、
UA > 8.0mg/dL は不適格。予防・治療的投薬はしない。
※参考：[尿酸高値に伴う予防・治療的投薬について](#)（2017年8月15日通知）
2. 末梢血幹細胞採取前に痛風発作と診断された場合、採取中止を検討する。
3. G-CSF 投与直前あるいは投与期間中に UA : 8.0mg/dL を超えていても無症状の場合、採取可。※尿酸降下薬などの対応は、各施設の判断で実施。
※G-CSF 投与による一時的な尿酸値の上昇は、数日後に自然下降することが期待される。薬剤による急激な低下によって痛風発作を誘発する可能性や肝機能障害等の副作用の懸念もあるため、各施設において慎重に判断すること。治療薬を投与する場合は、危機管理担当医師による要追認とする。

以上

【お問い合わせ先：（公財）日本骨髄バンク ドナーコーディネート部 TEL 03-5280-2200】